

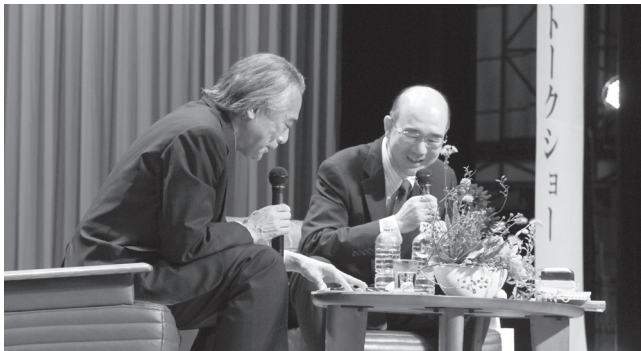
# 長門の話題

## Topics



▲ギャラリートークでの相田一人相田みつを美術館館長

▼2人の詩人の共通点と違いについて語り合う



### 詩人の魂と相田みつをと金子みすゞの世界展 2人の詩人の世界を鑑賞

9月29日(土)から10月28日(日)まで、ルネッサながとで、相田みつを美術館・金子みすゞ記念館共同企画展「詩人の魂と相田みつをと金子みすゞの世界展」が開催されました。

これは、生きた時代も人生も全く異なる2人が、期せずして今の日本に呼応するという点で共通するものがあると

いうことから、みすゞのふるさと長門で共同企画展が実現したものです。

また、10月16日(火)には、ルネッサながとで相田みつを美術館館長 相田一人氏と金子みすゞ記念館館長 矢崎節夫氏のトークショーが開催され、たくさんの人が2人の話を耳を傾けました。

### 日置地区災害避難訓練

## 防災意識の向上を目的に

10月11日(木)、日置地区で災害避難訓練が行われ、日置地区の児童生徒、古市自治会の住民など合わせて約450人が参加しました。

訓練は、午前10時に菊川断層を震源とする大地震が発生、日置地区で震度5強の揺れを観測、続いて日本海地震により津波警報が発表された

という想定で、参加者は日置地域づくりセンターへ避難しました。そこで日置中学校の生徒が、東日本大震災の被災地に研修視察したことを報告しました。

続いて参加者は、屋外で地震体験やバケツリレーによる消火活動競技、消火器チャレンジャーに挑戦しました。



▲児童生徒のほか、地域住民や民生委員、婦人防火クラブが参加

▼バケツリレーによる消火活動競技には中学生が挑戦



## 長門市駅改称50周年記念イベント

# 愛される駅舎で市も発展を



▲1日駅長のながと観光アテンダント大場彩さんの合図で出発

10月13日(土)、正門市駅から長門市駅に改称後50年が経ち、その記念イベントが長門市駅周辺で開催されました。記念式典では、主催者である一般社団法人長門市観光コンベンション協会香月直樹会長が「長門市駅が愛される駅舎となって長門市の発展につ

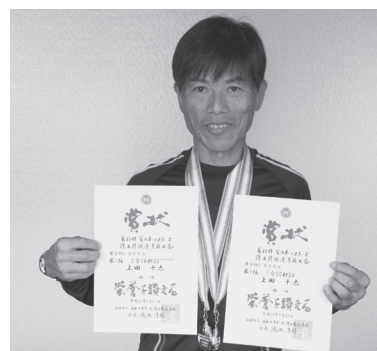
ながれば」と話しました。駅構内では、ながと鉄道まつりとして、転車台人力回転実演やミニ新幹線体験乗車、車輛展示が行われたほか、復刻版駅弁の販売や鉄道グッズの販売、軽トラ市などのイベントが行われ、たくさんの親子連れで賑わいました。

## 第33回全日本マスターズ陸上競技選手権で優勝

# まだまだタイムは伸びる

10月15日(月)、9月に岡山県陸上競技場で開催された、第33回全日本マスターズ陸上競技選手権大会60歳の部において優勝した上田十太さんが、市長を表敬訪問しました。大西市長を前に上田さんは「日本記録を塗り替えたい」と抱負を述べました。

▼出場種目は400mと800m



## 第1回長門市長杯高等学校硬式野球大会

# 切磋琢磨して甲子園を

10月14日(日)、長門高校野球場で、第1回長門市長杯高等学校硬式野球大会が開催され、長門高校と大津緑洋高校の2校で争われました。

大津緑洋高校の静間大地さんの選手宣誓に続いて、大西市長の始球式で試合が始まりました。

初回到両チームとも1点ずつ得点。しかし、長門高校は5回までに4点を追加。大津緑洋高校も7回、8回に1点ずつ得点しましたが、それぞれその裏の攻撃で長門高校も1点ずつ追加し、結局7対3で長門高校が追いつがる大津緑洋高校を下しました。



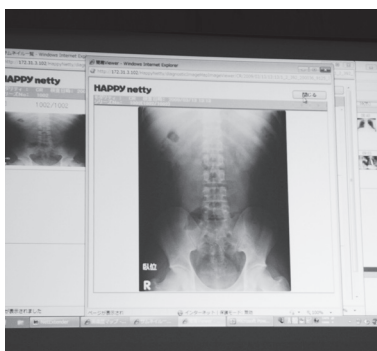
## 医療ネットながと運用説明会

# 情報共有で医療の向上を

10月10日(水)、地域医療連携システム「医療ネットながと」の運用説明会が開催されました。

これにより、中核病院の医療情報を患者の同意のもと地域の医療機関で共有できることになり、一層の医療サービスの向上につながります。

▼このような医療情報を共有





▲イラストレーター尾崎眞吾氏も審査員を務めた

みずゞショートムービーコンテスト

## 詩の世界を映像に託して

10月17日(水)、みずゞ燦参S

UN2012「金子みずゞショートムービーコンテスト」の最終審査会がルネッサながとで開催されました。

このコンテストは、金子みずゞの詩を題材に3分以内のムービーを作成するもので、135作品の応募がありました。

審査員は、矢崎節夫金子み

ずゞ記念館館長や映画監督の五十嵐匠氏らが務めました。

二次審査には、ネット上での投票による上位作品と審査員推薦作品の合わせて25作品が通過しました。審査の結果、柴口勲さんの「月日貝」が、グランプリに輝きました。

## 第2回 楊貴妃炎の祭典

# 日中友好と無病息災を祈る

10月7日(日)、油谷地区の楊貴妃の里で「楊貴妃炎の祭典」が開催されました。今回は、北九州大学などの中国や台湾などからの留学生や日本人大学生も参加し、日中の交流を深めました。

イベントでは、地元児童や園児による油谷太鼓、中国伝

統演舞、楊貴妃〇×クイズ、かき氷早食い対決、楊貴妃ミュージカルが行われ、盛り上がりました。

イベントの最後に、メインの「火渡りの儀」が行われ、家内安全や無病息災を祈願して渡り歩く来場者が見られました。



## お詫び

油谷地区敬老会での食中毒の発生について

10月17日(水)に開催した油谷地区敬老会(宇津賀・向津具地区)の弁当からウェルシュ菌による食中毒が発生いたしました。腹痛や下痢などの症状を発せられました皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

また、当日参加いただきました皆様方、お手伝いをいただきました自治会長他関係者の方々をはじめ市民の皆様方にご迷惑とご心配をおかけいたしましたことに対し、深くお詫び申し上げます。

今後、関係機関の指導の下、依頼業者等との調整を十分に行い、かかる事態が二度と起こらぬよう留意してまいります。

長門市長 大西 倉雄

## 第5回長門市民スポーツフェスティバル

# 秋空の下、大いに楽しむ

10月7日(日)、第5回長門市民スポーツフェスティバルが長門市体育協会主催で開催されました。グラウンドゴルフ大会、ゲートボール大会、卓球交流大会、ボウリング大会が市内各所で行われ、325人の市民が心地よい汗を流しました。





平成6年11月9日生 / 17歳 / 175cm、92kg

# 長門の人 People

流れを変えるプレーで  
チームに勝利を!

大津・大津緑洋高校ラグビー部主将 **東大起**さん

ちょっと  
小耳に

11月11日(日)から俵山多目的交流広場において第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会山口県予選会が始まります。

大津・大津緑洋高校ラグビー部主将である東大起さんは、チームメイトとともに伝統である「走れタックル」をモットーに、11年ぶりの花園に出場し、1回戦突破を目指します。

## 体格にあつた競技を

小・中学校はサッカー部に所属していてラグビーをするつもりはなく大津高校へと進学しました。当時の主将から入学前の春休みに誘いを受けて練習へ参加。入学後は、自分の身体を最大限生かすことのできるラグビーにのめり込んでいきました。

## 誰よりもボールに絡む

1年生の時、監督から足が太くすればプレーが変わると言われ、意識して足を鍛えました。タックルしては起き上



▲走力ラグビー、全員ラグビーが持ち味

がり走る。その反復練習の成果が大きな太ももとなり、練習でも試合でも誰よりも多くボールに絡むことができる選手へと成長しました。

## 常に冷静である

3年の春の大会でイエローカードを出され、7分間の退場処分。冷静ではなかった…。キャプテンとしてやってはならないプレーでした。この経験を機に常に冷静で気持ちを切り替えること意識するようになりました。そして県予選では、試合状況を冷静に判断して仲間への声かけやプレー

でチームを引っ張ります。

One for All, All for one

チームにとつていちばんの練習相手は、ラグビー部OBメンバー。花園を経験し、さらには大学でも活躍した先輩たちから技術や経験を毎週学んでいます。他の学校にはない、この強みを武器に選手は、一人はみんなのために、みんなは一人のために、そして支えてくれた家族や地域の人たち、OBのために待ち望んだ想いを果たします。



▲貴重なOBとの練習